



国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所

2022年3月10日

国連世界観光機関 (UNWTO) 世界観光指標 (World Tourism Barometer) 2022年1月号について

本報道発表の原文（英語）は、下記リンクにてご覧いただけます。

世界観光指標原文（英語）は、下記リンクにて抄録（無償）

及び全文（有償）をご覧いただけます。 <https://www.e-unwto.org/>

2022年1月18日

マドリッド

2021年、国際観光は4%成長するも、パンデミック前の水準には遠く及ばず

- UNWTO(国連世界観光機関)は、2021年の国際観光客到着数が前年比で4%増と報告している。
- しかし、2021年も厳しい一年となった。到着者数は、パンデミック前の水準に比べ、依然として72%減少となった。
- 回復には、連携の強化とワクチン接種率の向上が必要である。

2021年に国際観光客到着数は、前年比で4%好転した（4億人から4億1500万人）。しかし、UNWTOの速報値によると、依然としてパンデミック前の2019年を72%下回ったままである。これは、国際観光客到着数が73%減少した、観光史上最悪の年である2020年に続くものである。

World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific
- A Specialized Agency of the United Nations

Silkia Nara 2F, Sanjo-honmachi, Nara, 630-8122, Japan Tel: +81(742)30-3880 Fax: +81(742)30-3883 Email: info@unwto-ap.org

UNWTO 世界観光指標 (World Tourism Barometer) の 2022 年 1 月号では、ワクチン接種率の向上や国際的な連携及び手続の増進が観光を目的とする渡航に対する制限(以下「渡航制限」という。)の緩和と相まって、繰越需要の解放に役だったことが示されている。国際観光は 2021 年下半期に緩やかに回復し、第 3 四半期と第 4 四半期の国際観光客到着数はパンデミック前の水準と比較して 62%の減少にとどまった。限られた月別データによると、12 月の国際観光客到着数は 2019 年の水準を 65%下回った。オミクロン株と新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染者数の急増による影響の全容はまだ見えていない。

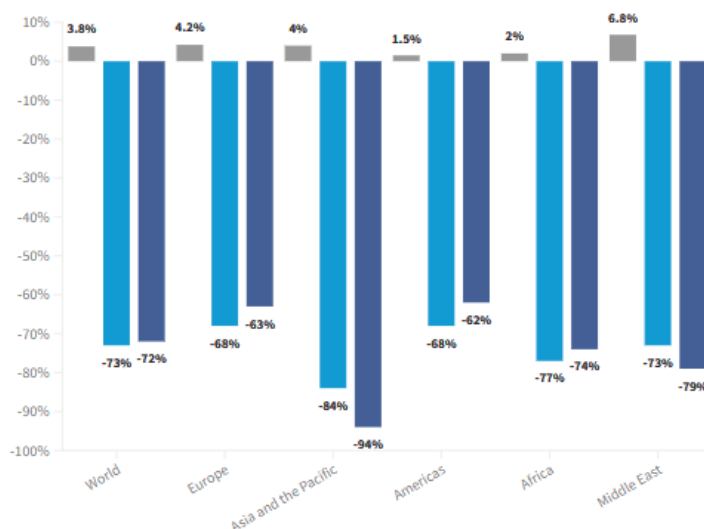
回復は遅く、ばらつきがある

移動の制限、ワクチン接種率、旅行者の信頼度などが異なるため、世界の各地域で回復のペースは依然として遅く、ばらつきがある。ヨーロッパと米州では、2021 年に 2020 年比で最良の結果を記録したが（それぞれ 19%増及び 17%増）、それでもパンデミック前の水準よりも 63%下回った。

準地域では、カリブ海が最も好調で（2019 年を 37%下回ったものの、2020 年を 63%上回った）、一部の国・地域はパンデミック前の水準に近づくか、あるいはそれを上回った。南・地中海ヨーロッパ（+57%）と中央アメリカ（+54%）も大幅な回復を見せたが、それぞれ 2019 年比で 54%及び 56%の減少にとどまっている。北アメリカ（+17%）と中央・東ヨーロッパ（+18%）も 2020 年の水準を上回った。

一方、アフリカでは 2021 年の到着数が 2020 年比で 12%増加したが、それでも 2019 年を 74%下回っている。中東での到着数は 2020 年比で 24%減少し、2019 年比で 79%減少した。アジア・太平洋では、多くの国・地域で不要の旅行が禁止されているため、到着数は依然として 2020 年の水準を 65%下回り、パンデミック前と比較すると 94%減となっている。

国際観光客到着数(前年比伸び率%)



Source: World Tourism Organization (UNWTO) © * Change over 2019 (provisional data)
Data as collected by UNWTO, January 2022. Published: 18/01/2022

A Flourish chart

観光支出の増加

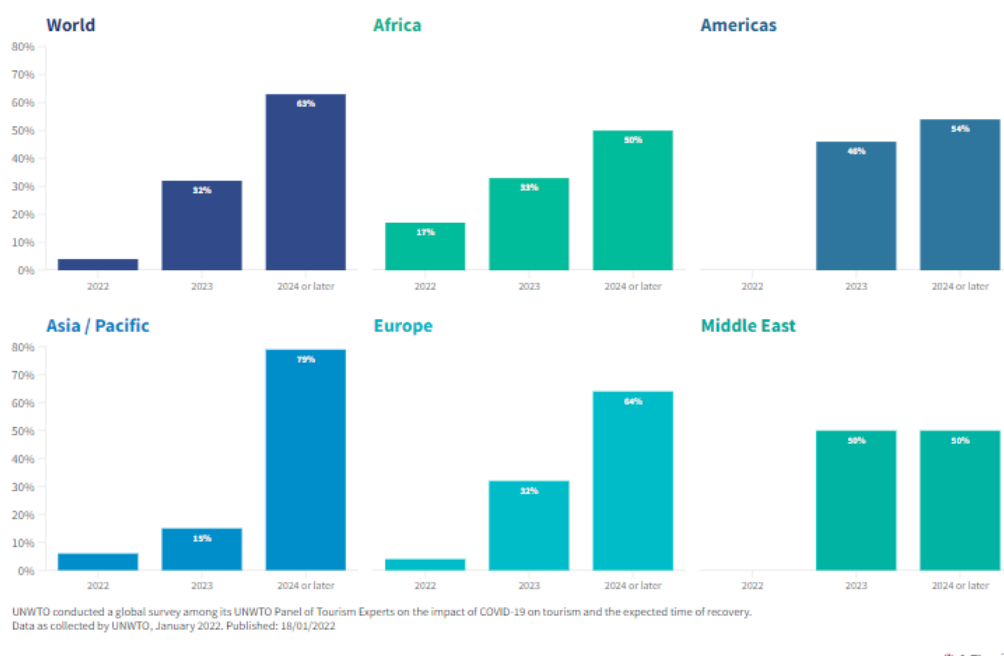
2021年における観光の経済的貢献（観光が世界のGDPに占める直接的な貢献）は2020年の1.6兆米ドルを上回る1.9兆米ドルと推定されているが、依然としてパンデミック前の3.5兆米ドルをはるかに下回っている。国際観光による輸出収入は2021年に7000億米ドルを超える可能性があり、一旅行当たりの支出が増加したことにより2020年より若干改善したが、2019年に記録された1.7兆米ドルの半分にも満たない。

2021年の到着者一人当たりの平均観光収入は、2020年の1300米ドルから増加し1500米ドルに達すると推定されている。これは、多くの繰延需要の増加と滞在期間の長期化、交通機関や宿泊施設の価格の上昇に起因するものである。フランスとベルギーでは観光支出の減少が比較的小さく、それぞれ2019年比で-37%と-28%と報告されている。サウジアラビア(-27%)とカタール(-2%)も2021年には比較的良好な結果を出した。

2022 年の見通し

最新の UNWTO 専門家委員会によると、ほとんどの観光専門家(61%)は、2022 年の見通しは良くなる予測している。58%の専門家が 2022 年、主に第 3 四半期での回復を見込んでいるのに対して、42%は 2023 年以降の回復の可能性を指摘している。現在、多数の専門家(64%)は、国際観光客到着数が 2019 年の水準に戻るのには 2024 年以降になると予測しており、これは 9 月の調査結果(45%)よりも増加した。

あなたの国・地域の国際観光がパンデミック前の 2019 年の水準に戻るのはいつになると思いますか？



UNWTO は、UNWTO 観光専門家委員会に対して、COVID-19 が観光に与える影響と回復が見込まれる時期についての世界的調査を行った。(2022 年 1 月 UNWTO データ収集 2022 年 1 月 18 日発表)

UNWTO 信頼度指数は、2022 年 1 月から 4 月にかけて、若干の低下を示している。ワクチン接種の迅速かつ広範な普及、それに続く渡航制限の大幅な解除、渡航規範に関する連携と明確な情報提供が、国際観光の効果的な回復への主な要因となると専門家は指摘している。UNWTO のシナリオでは、国際観光客到着数は 2021 年比で 30%

World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific
- A Specialized Agency of the United Nations

Silkia Nara 2F, Sanjo-honmachi, Nara, 630-8122, Japan Tel: +81(742)30-3880 Fax: +81(742)30-3883 Email: info@unwto-ap.org

～78%増加する可能性があるとしているが、これはまだパンデミック前より 50%～63%下回った水準である。

最近の COVID-19 感染者数の増加とオミクロン株により、一部の国々で特定の市場に対する渡航の禁止や制限が再び導入されたため、2022 年の年初の回復を妨げ、信頼感に影響を及ぼすと考えられている。同時に、ワクチン接種の普及には依然としてばらつきがあり、主にアジア・太平洋を中心に、多くの国・地域で依然として国境が完全に閉鎖されたままとなっている。原油価格の高騰、物価上昇、潜在的な金利の上昇、多額の負債、サプライチェーンの継続的な混乱などによる厳しい経済環境が国際観光の効果的な回復を更に圧迫しかねない可能性がある。しかし、ワクチン接種の普及と渡航制限を解除するための国際連携により、主にヨーロッパと米州を中心に、多くの市場で観光の回復が進んでいることは、消費者の信頼感を回復させ、2022 年の国際観光の回復を加速する助けとなり得る。

国際観光が回復する中で、国内旅行はますます多くの国・地域、特に大規模な国内市場を有する国・地域における観光セクターの回復を牽引し続けている。専門家によると、国内旅行や近場への旅行だけでなく、野外活動、自然を楽しむ観光商品、ルーラル・ツーリズムは、2022 年の観光を引き続き形成する主要な観光トレンドの一つであるという。

○UNWTO World Tourism Barometer (UNWTO 世界観光指標「バロメーター」)とは

UNWTO 世界観光指標 (「バロメーター」) は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UNWTO 本部から、年 6 回を目処に公表されます。国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所では、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○国連世界観光機関 (UNWTO) について

UNWTO は、1975年1月に観光に関する国際機関として設立され、2003年に国連の専門機関に移行した観光に関する国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所は、UNWTO の地域事務所として、1995年に設立されました。同事務所ではアジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

●お問い合わせ先(UNWTO 本部; メディア専用窓口)

E-mail: comm@unwto.org

Tel: (+34) 91 567 8100

※メディアの方は本部へ直接、英語でお問合せください。

お問い合わせ方法につきご質問がある方は

UNWTO 駐日事務所までご連絡をください。

○一般のお問合せ先

国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所

(一般財団法人アジア太平洋観光交流センター)

担当: 吉田

電話: 0742-30-3880

E-mail: info@unwto-ap.org